

# TGスポーツOB連合会報

# 躍動

第6号

平成26年  
10月30日発行  
企画広報委員会編集

TOHOKU GAKUIN  
UNIVERSITY



SPORTS OB FEDERATION

(躍動・本間良一前会長書)



## ご挨拶

会長 仲 嶋 一 雄

日頃より、OB各位より東北学院大学体育会各部へのご協力・ご支援を賜り深く感謝致します。今年も現状は厳しく東北の大学の中ではトップの地位は保たれていません。むしろ関東の大学との差は拡大しています。

何故か・要因は学院大学としての魅力がないからではないでしょうか。スポーツも大学の花形である、強化部等はずっと強くし全国でも常に優勝するくらいの環境を整えてやる必要があります。その部が学院大学の各スポーツをけん引し、他の運動部が刺激されて、強くなりますし全国でも勝てる部が出てきます。結果として文武両道が実現します。

これからの日本の実業界を背負うのは、学生時代に一生懸命4年間スポーツをやりきって、充実した学生生活を過ごした学生達です。企業人として、逆境に強く、ピンチには冷静な判断力を持ち、社会のいろんな変革を鋭く読み、素早く仕事に生かし、いい結果を出します。スポーツ経験者を企業が一番求めている要因です。

先日、来年学院大を志望している高校生と話す機会がありました。他の大学から誘いがありましたが、学院を目指すことを決めた理由はお父さんの出身校である事、高校時代からやって来たスポーツを続けて東北学院を全国にスポーツの盛んな大学ですと広めたいと言われ、この声を聞いて私は胸を打たれました。彼らの能力を育て、開花させるのは入学後の大学の姿勢と責任が問われます。

教職員の方々もスポーツ部に積極性が欲しいです。いい例は今年の春硬式野球部が神宮大会に出場をかけた仙台大学・福祉との三つ巴戦を見に行きましたが学院の応援が少ないです。卒業生と学生数が一番多い学院OBとしては寂しく感じました。学院愛校心が欠如しているように思われてなりません。優勝した仙台大学は兄弟校の高校の運動部が大勢応援に駆け付けていました。特に実力伯仲同志の試合では応援の力が欠かせません。こんな時は全学応援する態勢があってもいいのではないかと思います。

6月27日松本学長と話し合いの機会がありました。OBの方々言われていることを伝えました。運動部を強化するには学生の環境が整っていない。施設や学部が泉と南6軒丁に分かれ交通の手段やそして専任指導者の不足等を話し合いました。直ぐには改善できないけれども東北で私学として特徴を充分発揮する為には各運動部の再復興が必要ですと認めて頂きました。多忙にも係らず貴重な時間をさいて話し合いに応じて下さった大学関係者の方々に感謝申し上げます。

## 現場第一で再生への期待

副会長 高橋 富士男

私は昭和41年の入学である。計算をすると約半世紀も前のことになり我ながら驚くが、その当時は学生数は少なかったが体育会の学生は多くいて（多分）学内には活気があったように思う。応援団も団員がいっぱいて先輩がタバコの箱でも出そうものなら後輩の団員は「オッス」とマッチを手に先輩のもとへ全力疾走であった。また27番教室なる木造校舎があり当時とすれば珍しい階段教室であったが、その近くには相撲場がありまわしをつけて屋外での稽古風景であった。グラウンドのほうに向かって階段を降りていくと体育館の一角で卓球部が朝から晩までいつも練習をしていていつ授業に出るんだろう、と思っていた。授業には出ていたであろうがそれくらいいつも練習をして記憶で、さすがに全国トップ争いのクラブだな、と思って柔道場に通っていた。

柔道部は野間記念道場というグラウンドの端っこの建物であった。講談社の野間社長からの寄贈で野間記念館と称していたと思われるが、当時はあまりにも厳しい稽古、時には今でいう超パワハラで一年生などは道路の小石並みかそれ以下の扱いであったかもしれない。

でもこの苦しみを経て上級生になっていくとそれなりの自信もついてきて東北では勝って当然、との思いはみんなが持っていたように思う。東北地区総体で勝てない部はカッコ悪い存在であった。それだけ東北学院は各競技で頂点を極めていた。その後、昭和50年代に入ってくると東北地区大学内でも特に私学がスポーツに特化した強化を始めるようになり、とりわけ東北福祉大の台頭は目覚ましいものであった。全国区の競技をいくつも作った実績は評価しなければならない。それ以外の大学も全国をターゲットにした競技の強化策を図るようになり平成に入ると分布図がさらに変わってきて、いよいよ東北学院大学で東北の頂点に立つ競技部は残念ながら数えるくらいに減ってしまった。

これら頂点にいる部やそれに近い部を見ても指導陣が毎日、学生の前に姿を見せている部に限定されよう。指導者は現場にいてナンボである。前号でも「確かに大学の体育会の強化に関する姿勢に大なる不満を持つが、現場にときおり足を運ぶような監督では説得力もないし、大学批判をされても大学当局は痛くも痒くもないであろう」と書いた。

現時点では各部が工夫して現場に顔を出せる監督への交代も一つであろうし、複数のOBの協力を得て毎日誰かが練習場に顔を出しては学生と接する体制づくりをすることがなにより肝心である。このことは学内に指導者のいない競技部に特にあてはまると思うが、大学に対しての不満をナンボ言っても解決はしてくれない。自分の競技部の部長（教員）も含めて何とか当該競技部全体で最大限の知恵を出して行動していくしかない。

学院スポーツが勝利するのが当然、と思っていたころの時代は、多分どの部にもうるさい先輩方が顔を出しては威張っていたであろうし、また部員諸君と接していたのだと思う。現場第一である。

さて、昨年度に新たに加盟届けを提出してもらい再生を試みたがそれまでの46団体から37団体に減る結果となった。これは想定内であったが、これから本会もいろいろのアイデアを出して退会したOB会がひとつふたつと戻ってくるように声掛けをしてまいりたい。

各OB団体の理事（二人）構成を見てみると「平成卒」がいかにか少ないことか。今や私のような65歳以上が日本の総人口の26%を占めて4人に一人という高齢化の時代である。各OB会の長老もますます元気であろうが、平成卒の役員がもっと増えていい。平成になってからの卒業生も今や50に近い親父である。その方々に本会の運営に口を挟んでもらい戦力となって後押しをしていただきたい。



世界ベテランズ柔道大会（2013. アブダビ）

## インタビュー

東北学院大学長&学校法人理事長  
松本宣郎先生

インタビューー 大友 富雄 (TGスポーツOB連合会理事長)

—— 松本先生は東北大学で長いこと教鞭をとられ、その後に宮城学院長、同理事長等を経て東北学院大学長に就任されましたが、本学にこられた際の第一印象はいかがだったでしょうか。

**松本学長（以下学長）** 就任前はキリスト教による人格教育を基礎とし、私立大学としても東日本最大規模の大学として敬意をもって見ていました。ですので、当大学に招かれたときは、大変光栄に思いました。また、その感想は間違っていなかったと感じています。

—— 就任から1年半ほど経ちましたが。

**学長** 学校法人としての組織体制、教育内容はしっかり整備されていると思います。しかし現状に安んじる気風があり、改革意欲が総じて乏しいという印象をうけております。今後、その打開を講じようとしています。

—— 昨年4月に大学長に就任されてから、青山学院定期戦や北海学園定期戦において各競技場に足を運ばれておりましたが、本学のスポーツについてのどのような印象をお持ちでしょうか。

**学長** 「東北・東日本」の大学として、野球やサッカー、ラグビーなどでは有数のポジションを保っていると思います。しかし近年は、各部結果を出すことに苦労しているように感じます。

—— 現在、当大学体育会所属の学生は、約1,000名ほどですが、その数字は全学生の10%にも至っておりません。これも戦績の低迷に影響していると思います。西武ライオンズで活躍の岸選手に継ぐような選手の台頭を期待しているところですが。

**学長** 最近の傾向として、課外活動、特に正規の「部、クラブ」への参加を好まない学生がどの大学

でも増加していると聞いております。ただし、このような流れはある程度やむを得ません。各「部」がそれぞれ対応に工夫し、メンバー勧誘の方法を考えてほしいと思います。

—— 今後、当連合会の念願であった日曜日の運動施設解放が実現されることですが。

**学長** 社会的な要請でもありましたので決定しました。このことが地域スポーツとの交流や高校生の招待試合などに生かされ、スポーツ関係に少しでもプラスになればうれしいことです。

—— 現在、文系学生の多くは泉と土樋の二つのキャンパスで学んでおりますが、スポーツ競技においても弊害が出ております。指導者の苦労も相当大きいようです。また進級においても苦労をする学生が多く、泉キャンパスでの3年目を断念し中退する学生もいると聞きます。大学長として先生のキャンパス構想をお聞きしたいと思います。

**学長** 2019年までには、かなりの数の学部生全員を土樋キャンパスで教育することは決定しています。大学キャンパス構成は策定中であり、流動的な事柄もあるので明確には言い難いですが、泉キャンパスの運動施設は残したいと思います。進級については本人の自覚を促し、若干のサポート体制は考えたい。



—— 先生は今年の4月から東北学院理事長の重責にも就かれました。

**学長** 東北学院は、大学のほかに東北学院高校と学院榴ヶ岡高校の二つの高校があります。教育の面での高大接続をもっと密にしたいと協議中です。スポーツについてもそのなかの1つのテーマとし、関係強化を考えています。

—— 最後に一言お願いします。

**学長** やはり体育会の学生にとっても授業が第一です。練習、大会等を両立することは、大変な事ですが、学院大生として「文武両道」を大いに励んでほしいと思います。

また、TGスポーツの活躍は、在学生、そして多くの同窓生の誇りとなります。今後は、スポーツOB連合会との連携できるところを考え、TGスポーツ再生に向かっていければと思います。



平成26年8月31日 小泉政務官と復興インターン報告会にて

### 松本宣郎（まつもとのりお）先生 略歴

- 昭和19年（1944）4月 生まれ。岡山県出身。文学博士
- 昭和45年（1970）3月 東京大学西洋史学科卒業、昭和48年同大学院修士課程修了、同助手
- 昭和53年（1978）4月 東北大学文学部講師、昭和56年助教授、平成2年教授
- 平成13年（2001）4月 東北大学文学研究科長 & 文学部長
- 平成20年（2008）3月 定年退職、名誉教授
- 平成21年（2009）4月 学校法人宮城学院学院長
- 平成22年（2010）4月 学校法人宮城学院理事長兼務
- 平成24年（2012）4月 宮城学院中学校、高等学校長併任
- 平成25年（2013）4月 東北学院大学学長
- 平成26年（2014）4月 学校法人東北学院理事長兼務

## アメリカンフットボール部

### 就任のご挨拶と抱負

今シーズンよりヘッドコーチを務めております、1997年3月法学部卒の齋藤晃と申します。

現在の私があるのも、このアメリカンフットボール部があったからであり、素晴らしい大学でコーチができることを、とても嬉しく思っております。

チームは大きな目標を掲げており、それは、「優勝する」ということだけではなく、今よりも前進していく、学生が人として成長するという大きな目標です。課された責任は非常に重く感じています。

そのためには、試合結果を良くしていくことと同時に、内容についての改革も求められていると思います。我々は堅実なチームにならなくてはなりません。まずは堅実な結果をだすことで、毎年のように2部への降格を危惧することから脱したいと思えます。我々は毎試合勝利を求めて戦うことと同時に、いかに戦うかというところにも力を注いでいきたいと思えます。

これまでのところ、失点が多く、得点が少ない。まずこの点を改善していかなければなりません。攻撃の組織を改善しなければならないと同時に、守備面での改善もしなくてはなりません。チーム戦術をしっかりと取り入れていかなければならないのですが、それは試合を通して、あるいは試合形式の練習を通して、という形になると思います。春のシーズンは、「どのようにすればいいか、どのようなことができるか」、というたくさんのアイデアを練習試合、青山、北海定期戦の中で選手たちに示すことで、いい関係でのプレーができるように改善する道筋はできたと思っております。

いかに関係するか、ということは、攻守の両面にわたって必要になってきます。いかに規律正しくプレーをしていくか、というアイデアを提供し、それと並行して、いかにダイナミックなプレーを、ダイナミックな動きを出していけるかということも求められてきます。ミス改善していくことももちろん大事ですが、まずはいかにチームとして戦術を理解し、チームとしてプレーできるか、というところを大前提に考えていきたいと思えます。選手たちにもそれをしっかりと理解させて、そのための準備を求めていきます。100%の準備、100%のモチベーションがない限り、戦術の話をしたところで全く意味のないものになってしまいます。そういう意味から、東北学院大学体育会アメリカンフットボール部に携わるすべての人たち全員で、この前進への第一歩を踏み出していききたいと思えます。



### 今春3月卒業生（新会員）の主な就職先

- ・七十七銀行 ・科研製薬 ・宮城県警
- ・前田道路 ・大和ハウス工業

### OB会の近況など（昨年10月から現在まで）

- (1) 各事業（総会やゴルフ大会などのOB会の事業等）
  - ・OB会総会（2月8日～場所仙台国際ホテル）
  - ・OB会総会（5月25日～場所仙台国際ホテル）
- (2) 活躍のOB（指名・活躍の状況）
  - ・小笠原敦（2011年3月卒）
  - ・社会人リーグ「ハリケーンズ」でスターティングメンバーとして活躍中

### 現役部員について

- (1) 今年度の目標（競技成績や部全体の目標）
  - ・東北学生リーグ優勝
- (2) 新人部員の紹介（氏名・出身校・ポジションなど）
  - ・神永峻佑 東北学院榴ヶ岡高校  
クォーターバック
  - ・大瀬寛人 弘前中央高校 オフェンスライン
- (3) 今年期待の選手（学年・氏名・期待の理由）
  - ・3年 三條貴広  
関西学生オールスター戦に選出
  - ・3年 橋本和磨  
関西学生オールスター戦に選出

体育会アメリカンフットボール部 ヘッドコーチ  
齋藤 晃

## 空 手道部

### 今春3月卒業生（新会員）の主な就職先

- ・(株)ヒラマ
- ・セコム(株)
- ・(株)三菱東京UFJ銀行
- ・(株)東邦銀行

### OB会の近況など（昨年10月から現在まで）

- ・H26年度総会（10月末～場所未定）
- ・富岡杯ゴルフ会（10月末～場所未定）

### 現役部員について

- （1）今年度の目標（競技成績や部全体の目標）  
団体組手全国ベスト8
- （2）新入部員の紹介（氏名・出身校・ポジションなど）
  - ・塚田 侑成（東北学院）
  - ・田村 拓也（石巻好文館）
  - ・堀 享生（秀光中等教育）
  - ・佐藤 沙恵（石巻市立女子）
  - ・馬場 脩正（聖光学院）
- （3）今年期待の選手（学年・氏名・期待の理由）
  - ・4年 佐々木穂高  
ケガも治り6月下旬の東北総体でも個人組手準優勝という好成績

東北学院大学空手道部OB会  
幹事長 高橋光夫

## 弓 道部

弓道部は創立56年になりますが、少ない資料の中で発足当時の活動を紹介します。

### ●発足

昭和30年前監督の佐藤正好氏、前OB会長の吉田勝彦氏他数人の先輩方により弓道愛好会発足された。

初代師範に上野三郎先生を迎え、十二軒丁（現在の八幡一丁目付近）にあった上野道場に通り稽古に励んだ。

### ●弓道部に昇格

昭和34年 体育会弓道部に昇格、弓道部としての活動が始まる。

昭和35年 発起校として東北学生弓道連盟結成、全日本学生弓道連盟に加盟する。

発足時の東北学生弓道連盟加入校は、東北学院大学・東北大学・福島大学・山形大学の4大学初代会長には桐原幸雄氏が就任。

### ●各種大会の開催及び出場

昭和34年 東北大学との定期戦開始

昭和35年 第1回東北学生弓道大会開催

昭和36年 第9回全日本学生弓道選手権に初出場

昭和36年 第9回全日本学生王座決定戦に嵐田昭吉氏が出場

昭和36年 日大工学部との定期戦開始

昭和37年 北海学園大学との定期戦開始

### ●土樋キャンパスに道場落成

部員も増えてきて、八幡神社境内に立派な道場が出来たので、稽古の場所が変わった。

昭和38年、二代師範に西村千代子範士を迎える。（西村千代子9段範士は日本最初の女性範士で宮城第一女子高校長などを経て、宮城県議会議長などを務めた阿波研造範士に師事し厳しい指導で知られていた。）

連日仙台市電に乗り荒町と八幡町を往復しての稽古だった。

OB、部員による募金活動、材料調達などにより、決して立派な造りの道場でないが部員の熱意と情熱

によって5人立ちの道場が土樋キャンパス内に完成した。

## ●稽古の量増える

道場が近くなり、教室から道場に、道場から教室に、道着を着たまま教室に行く状態でした。稽古量は非常に多くなり、どんどん実力もついて行った。

道場の変更により、三代師範に小沼修吾氏を迎える。(小沼修吾9段範士は阿波範士に師事し、その後安沢範士、紺野範士に師事。温厚にして常に学生を情熱をもって指導し、昭和57年逝去されるまで、長年にわたり学生弓道の発展に尽力された。)

## ●全日本制覇(創部6年目)

以前の数倍の稽古量と小沼先生の情熱的な指導により、昭和38年には全日本弓道選手権ではベスト8に残り、自らレベルアップしたことを知る。

昭和40年、より上位を目指して第13回全日本学生選手権に出場したところ、常連の強豪校を次々に破り、思いもよらなかった優勝をすることができた。



## 今春3月卒業生(新会員)の主な就職先

- ・東北電力(株)
- ・COOP共済
- ・(株)大東銀行

## OB会の近況など(昨年10月から現在まで)

- ・活躍のOB(氏名・活躍の状況)  
平成16年卒 飯山 雄介(錬士5段)  
7月19・20日にパリで開かれた「第2回世界弓道大会」において団体で優勝した。  
各国団体3名で予選を1位で通過、8か国で

争う決勝トーナメントでは順調に勝ち進み、決勝では前年優勝のフランスを破り優勝した。

前回日本は予選で敗退したためプレッシャーもあったが冷静に対応できた。



## 現役部員について

- (1) 今年度の目標(競技成績や部全体の目標)  
全日本学生弓道選手権大会 上位入賞  
全国学生弓道選抜大会 上位入賞
- (2) 新入部員の紹介(氏名・出身校)
  - ・阿部 優汰(宮城 好文館)
  - ・後藤 将次(山形 谷地)
  - ・清水 悠貴(群馬 前橋育英)
  - ・高山 仁(秋田 角館)
  - ・磯崎 智紀(栃木 鹿沼東)
- (3) 今年期待の選手(学年・氏名・期待の理由)  
部員の人数に余裕がないので、全体でのレベルアップが必要で各個人への期待はしていない。

東北学院大学弓道部OB会  
熊谷 聖



## 東北学院大学体育会剣道部 躍進へ

日頃より後援会活動にご協力、ご支援をいただき、誠にありがとうございます。東北学院大学剣道部後援会会長を務めさせていただいております、斎藤です。

本後援会では、学生が部活動によりよい環境で稽古に励めるよう後援会会費より物品の援助や、月1度行われているOB稽古会に学生と稽古をするために積極的に参加させていただいております。稽古をつけていただく先輩方の多くは、現在でも活躍している、宮城県警察や宮城刑務所の先輩方、また他県の警察で全国大会へ出場されている先輩方で、学生にとって大変身になる稽古が行われております。

後援会自体の活動としては、年一度の後援会総会が主で、その他、稽古会や大会の応援、懇親会が主な活動となっております。

本剣道部は、もう少して設立100周年を迎えようとする大変歴史ある部であり、その歴史の中では、全日本学生剣道優勝大会で二度、3位という輝かしい成績を残しております。今年度開催された、第62回全日本学生剣道選手権大会、並びに第48回全日本女子学生剣道選手権大会においても11名もの選手が出場しました。個人として全国で入賞することはできませんでしたが、併せて開催された全日本学生剣道東西対抗試合にも東北代表として2名の選手が出場し、4年生の黒木翔平が優秀選手賞に選ばれました。

新1年生も20名とスポーツ推薦の他にも非常に多くの学生が入部し、在学生だけでなく、新しい力も育ってきており、その指導を行っている曾根孝悦師範や新村浩志監督といった大変優秀な先生方が日々の稽古をつけてくださっております。

こういった環境の中で、全国大会での入賞、そして我々の悲願である全国制覇を成し遂げてくれるよ

う、後援会として今後も惜しめない応援、助力をしていきたいと思っております。

また、そのためには保護者の皆様のご理解、ご協力、そして東北学院大学体育会OB・OGの皆様方の応援が必要不可欠かと思っておりますので、今後とも今までと変わらない応援・ご協力のほど、どうぞよろしくをお願いいたします。

### 今春3月卒業生（新会員）の主な就職先

- ・(株)栃木銀行 ・登米市シルバー人材センター
- ・(株)ヤマザワ ・岩手県警 ・福島刑務所
- ・宮城刑務所

### OB会の近況など（昨年10月から現在まで）

活躍のOB

- ・鈴木 次彦：第61回全日本剣道選手権大会出場
- ・高坂 雄介：第61回全日本剣道選手権大会出場
- ・遠藤 稔正：東北北海道対抗戦出場
- ・遠藤 卓也：東北北海道対抗戦出場
- ・澤田 裕和：東北北海道対抗戦出場
- ・五十嵐裕子：東北北海道対抗戦出場

### 現役部員について

#### (1) 今年度の目標

第62回全日本学生剣道選手権大会において、東北予選で男女合わせて11名と過去最多の出場枠を獲得することができた。全国では惜しくも上位入賞は叶わなかったが、11月に控える全日本学生剣道優勝大会、女子学生剣道優勝大会において、まずは東北予選での優勝、そして全国での上位入賞を目指す。

#### (2) 新入部員の紹介

男子

- ・青木 優輝（米沢中央）
- ・安彦 凱（福島西）
- ・荒川 瑞樹（湯本）

- ・氏家 優希 (角田)
- ・遠藤 雅人 (福岡)
- ・大沼 和樹 (仙台育英学園)
- ・川原 匡登 (北海)
- ・小菅 柁毅 (恵庭南)
- ・斎藤 龍哉 (角田)
- ・鈴木 健太 (小牛田農林)
- ・鈴木 大地 (聖光学院)
- ・千葉 健吾 (東北学院榴ヶ岡)
- ・栢 健之助 (三沢)
- ・長谷部 滉 (東北学院榴ヶ岡)

## 女子

- ・遠藤 菜緒 (仙台育英学園)
- ・高橋 沙希 (岩ヶ崎)
- ・千葉 楓 (利府)
- ・中野 蘭 (福岡)
- ・納谷 瑞樹 (麗澤瑞浪)
- ・藤沢里佳子 (新潟商業)

## 今年期待の選手

### 男子

- ・1年 小菅 柁毅

新入生リーグ戦1位となり、団体戦への起用も期待される。

### 女子

- ・1年 藤沢里佳子

新入生リーグ戦1位となり、団体戦への起用も期待される。



東北学院大学剣道部OB会  
会長 斎藤 東志男

## 硬式野球部

### 今春3月卒業生(新会員)の主な就職先

- ・日本製紙(株)
- ・日本赤十字病院
- ・(株)ミニミニ
- ・東北リコー(株)
- ・ネットトヨタ仙台(株)
- ・(株)七十七銀行 他

### OB会の近況など(昨年10月から現在まで)

#### (1) 各事業

- ・ビアパーティー(8月22日～銀兵衛)
- ・ゴルフコンペ  
(11月2日～太白カントリークラブ)

#### (2) 活躍のOB

- ・星 孝典(埼玉西武ライオンズ)
- ・岸 孝之( )
- ・伊藤 祐介(福岡ソフトバンクホークス)

### 現役部員について

#### (1) 今年度の目標(競技成績や部の目標)

目標: リーグ戦の優勝

成績: 春季リーグ戦プレーオフ敗退(2位)

東北地区大学野球選手権ベスト8

#### (2) 新入部員の紹介(氏名・出身校・ポジションなど)

- ・長鈴 悠平(盛岡第四 投手)
- ・佐藤 信行(専大北上 内野手)
- ・武山 祐太(仙台商業 投手)

#### (3) 今後期待の選手(学年・氏名・期待の理由)

- ・3学年 本田 圭佑

(MAX 147km/h・岸2世・プロ注目)

東北学院大学硬式野球部OB会  
幹事長 伊藤 昌俊

## 東北学院大学体育会ゴルフ部 創部50周年記念祝賀会開催



9月20日、江陽グランドホテルにおいて、東北学院大学体育会ゴルフ部創部50周年を記念しての祝賀会が盛大に開催されました。

当日の朝は、創部50周年を記念して、OBによるコンペが開催され、午前7時、杜の都ゴルフ倶楽部に集合した約50名のOBがコースを回りました。現役ゴルフ部学生男子のCブロック優勝もあり、来シーズンBブロックでの活躍に期待を寄せるOBたちの話題は大いに盛り上がりました。

夕方の祝賀会は、江陽グランドホテル6時からスタート。日中ラウンドしたOBに加え約130名と来賓が集う祝賀会となりました。会は、物故者黙とうに続き、記念祝賀会実行委員会委員長のゴルフ部OB会会長、小田桐和久氏の挨拶、体育会ゴルフ部部長の原田善教教授の挨拶と続き、来賓挨拶



には松本宣郎学長、そして後藤久幸同窓会会長の乾杯で祝宴が始まりました。

宴の間には、歴代監督の五十嵐一彌氏による創部メンバー紹介が行われ、来場のOBたちが次々とステージ上に立ち、創部時のエピソードを披露。

現役ゴルフ部からの報告では、大友富雄監督の挨拶と現役部員紹介があり、「今シーズン、Cブロックでの逆転優勝で来期Bブロック昇格」が報告されると会場は割れんばかりの拍手が響きました。部員の補充・強化が来シーズンの課題と語るOBもあり、さらに大学の理解と協力を求める声も聞かれました。

来賓者のスピーチでは東北福祉大学ゴルフ部の阿部靖彦監督がBブロック昇格について「学院大と福祉大とで大いに盛り上げたい」と語りつつも、「関東学生ゴルフ連盟専務理事の立場からは、団体戦でマッチプレーするためにも更なる部員増が命題」とアドバイスも飛び出しました。

その後も会場から10名の参加者をジャンケンで選出してのアトラクション、スナックゴルフが行われ、ステージ上からのOBも飛び出す盛り上がりでした。優勝は合計100点をマークしたOBの渡辺氏が豪華商品を手に入れました。

祝賀会も大詰めとなり、参加者全員で校歌を斉唱。星宮望院長の中締めと、全員の記念撮影があり、ゴルフ部創設50周年記念祝賀会は大盛会となりました。



## サッカー部

### 友情と絆をふかめて45年…

去る、8月23日(土)青山学院大学OB見木一郎さんのお世話により、宇都宮は「サニーヒルズカントリークラブ」において18名の参加をいただき、我々のレベルには勿体ない程の素晴らしいコースの中で汗をかいて参りました…!

優勝は昨年引き続き、本学OBの立花保夫君、準優勝に本学サッカー部後援会幹事の高橋公晴君でした。今回も後援会会長の峯岸良造様と副会長の菅原裕典様にも駆けつけていただき、沢山のご褒美の提供をいただき、賑やかな内に閉会となりました。

夜は東京に場所を移し、恒例になりました前夜祭を本学昭和40年に卒業された山田隆志先輩のお店「自由が丘・そば処山久」にて、青山学院大学元部長の田所勝太郎先生も駆けつけてくださり、総勢30名の参加で開会、本学OB金須重徳君からの差し入れ(ホヤ・葉わさびの漬け物・小なす漬け・蒲鉾)がテーブルせましと並べられ、お酒も美味しく進み和やかな内に終演となった。

良く24日(日)、青山学院大学相模原緑ヶ丘グラウンドにおいて45回目となるOB戦が開催され、開会式では田所勝太郎先生から気合いのこもった激をいただき、本学サッカー部監督松原悟先生にも参加してもらい、往年の名選手!達の珍プレーを見ながら、笑の中にも真剣勝負の面持ちでの戦いの勝敗は青山学院に軍配が上がり、タイムアップ…!!

来年、仙台での再会を約束し東京を後にした。

先に、本学主幹で6月21日(土)に行われた北海学園大学との定期戦に昨年創部60周年記念式典に出席した御礼を兼ね、OB会長の阿波昭則様と幹事長の前田晃壺様がフェリーで来仙され、本学OB会長佐藤順氏と幹事長武田均氏と共に、ささやかな会食をした後、フェリー埠頭までお見送りをして参りました。

最後に両大学との交流戦開催にあたり、青山学院大学OB会長本橋淳様並びに本学前OB会長松谷一夫様から多大なご支援をいただきましたことに、心からの感謝を申し上げます。

### 今春3月卒業生(新会員)の主な就職先

- ・ J R 東日本(株) ・ 日本通運 ・ カメイ(株)
- ・ (株)一条工務店宮城 ・ D N P 東北
- ・ ホシザキ東北 ・ サッカーショップ加茂仙台店

・ 国分(商社)

### OB会の近況など(昨年10月から現在まで)

- (1) 各事業(総会やゴルフ大会などのOB会の事業等)
  - ・ OB会総会及び懇親会  
(3月23日 稲荷小路○△□)
  - ・ 大学スタッフ歓送迎会  
(4月2日 日の出ビル「瑠璃庵」)
  - ・ 北海学園大学サッカー部創部60周年式典  
(6月15日 札幌市内)
  - ・ 対青山学院大学定期戦OBスタッフとの懇親会  
(8月9日 国分町「山考寿司」)
  - ・ ♪ ゴルフコンペ  
(8月10日 杜の湖畔公園CC)
  - ・ ♪ 前夜祭(8月10日 伊達の牛たん本舗)
  - ・ ♪ サッカー定期戦  
(8月11日 小鶴キャンパスG)
  - ・ スポーツOB連合会ゴルフコンペ  
(8月1日 杜の都CC)
  - ・ 青山学院大学サッカー部創部90周年式典  
(11月23日 東京 アイビーホール)
  - ・ スポーツOB連合会総会 懇親会  
(2月20日 サンプラザ ホテル)

### 現役部員について

- (1) 今年度の目標(協議成績や部全体の目標)
 

夏の総理大臣杯東北予選では、決勝戦で惜しくも敗れ準優勝に終わったが、準決勝で宿敵仙台大学を下すなどチーム力は向上している。夏季強化合宿(関東遠征)を終えて、冬のインカレ出場を目指して秋季リーグ戦に臨みます。既に八戸学院大学に3-0で快勝し、上々のスタートを切った。

伝統クラブの復活の年になるために、スタッフ一同気を引き締めて挑みたい…!
- (2) 新入部員の紹介(氏名・出身校・ポジションなど)
  - ・ 本間 圭佑(歴史) モンテディオ山形ユース
  - ・ 豊間根広大(経済) 盛岡商業
  - ・ 中村 大介(経済) 利府
  - ・ 佐藤友樹範(経済) 宮城県工
  - ・ 伊藤 和樹(経済) 秋田商業
  - ・ 齋藤 柊哉(経済) 仙台南南
  - ・ 赤坂 大成(経済) 盛岡商業
  - ・ 脇山 拓己(経済) ACアズーリ
  - ・ 三浦 圭(経済) 角館
  - ・ 荒木 竜也(共生) 秋田商業

- ・齋藤 和也 (共生) 聖和学園
- ・白旗 諒 (共生) 広瀬
- ・藤澤恭史朗 (経営) ベガルタユース
- ・滝村 勇樹 (経営) 盛岡商業
- ・佐藤 滉大 (経営) 多賀城
- ・田邊 慶 (経営) 仙台育英
- ・星川 拓海 (経営) 名取北
- ・村本 惟吹 (経営) 弘前実業
- ・瀬川 燎 (経営) 仙台商業
- ・三浦 光 (法律) 聖和学園
- ・熊谷 雄太 (地域) 秋田商業
- ・加賀 航平 (仙台商業)
- ・大沼 飛翔 (東北学院)

(3) 今年期待の選手 (学年・指名・期待の理由)

- ・藤澤恭史朗 (経営1年)  
ベガルタ仙台ユース・DF  
高校では全国ベスト緒16の実績を持つ、ヘディングが強いセンターバック
- ・滝村 勇樹 (経営1年) 盛岡商業・DF  
高校ではキャプテンを務め、クレバーなプレー、フィードが定評あるサイドバック

東北学院大学サッカー部OB会



## 東北学院大学山岳会及び 体育会山岳部の報告

東北学院大学山岳会 (OB会) は、平成26年3月15日(土)、平成二十六年定期総会が開催され役員改選が行われました。

### 役員一覧

顧問	談	問	板橋 元一 (S20卒)
名誉	会	役	北川 泰 (S31卒)
会長		長	松倉 和義 (S36卒)
副会長		長	千田 光彦 (S36卒)
			佐藤 弘 (S43卒)
幹事		長	佐藤 浩輔 (S45卒)
副幹事		長	星 雅夫 (S46卒)
事務局		長	阿部 一雄 (S49卒)
	同	委員	佐藤 浩輔 (S45卒)
総務	同	委員	江馬 文成 (S53卒)
	同	委員	阿部 一雄 (S49卒)
企画	同	委員	伊藤 光芳 (S50卒)
	同	委員	村上 兼人 (S59卒)
海外登山研究	同	委員	齋藤 伸 (H11卒)
	同	委員	志小田美弘 (S56卒)
時報編集	同	委員	佐藤 浩輔 (S45卒)
会計	同	委員	渡辺 道夫 (S49卒)
	同	委員	佐賀 仁 (S51卒)
会計監事		事	高橋 清暉 (S43卒)
			米田 順一 (S29卒)
			鈴木 成章 (S38卒)
TGヒュッテメンテ	同	委員	根元 和夫 (S48卒)
	同	委員	針生 尚 (S52卒)
県山岳連盟担当			相沢 岩男 (S39卒)
東北学院大学体育会山岳部			
	監督		星 雅夫 (S46卒)
	助監督		渡辺 道夫 (S49卒)
	コーチ		村上 兼人 (S59卒)
			志小田美弘 (S56卒)

### 平成26年度体育会山岳部・新入部員

- ・三浦絵里菜 (経営学部経営学科1年 南光学園東北)
- ・鈴木 里奈 (法学部法律学科1年 名取北)

三浦絵里菜さんの入部により従来型の縦走登山にフリークライミング競技が加わる事になり山岳部は新体制となりました。

### 成績

- ・三浦絵里菜：  
7月25日～27日、第41回東北総合体育大会が福島県あずま総合運動公園で開催。ボルダリング競技・リード競技が行われ、総合1位となり国体宮城県代表出場となりました。

東北学院大学山岳部OB会

## 自転車競技部

### 「輪心館」

「練習スタート30分前です」早朝4時半、一年生が5時スタートのロード練習の為に先輩達を起こす起床の言葉で、東北学院大学体育会自転車競技部合宿所「輪心館」の一日が始まります。

我が部は、質の高い計画的な練習を行うため、創部以来約40年間合宿所を続けて来ました。

合宿所生活では、縦社会の厳しさもありますが、それ以上に先輩後輩の関係を越えた協調性が養われ、また、様々な角度から自分を見つめ直し、自主性が生まれてきます。

合宿所での共同生活では、良い時も悪い時も日々の生活でその空気をいやでも共有することになりますが、部員全員が高い目標を持ち、同じ方向さえ向いていれば、そこに結束力が生まれて来ます。先輩方はそうやって伝統を築き、自転車競技部は「輪心館」と共に歴史を歩んで来ました。

OB会などで集まれば、合宿所生活での話に花が咲きますが、OBの皆さんは、ただその時を懐かしんでいるだけではなく、合宿所で過ごした4年間で今の自分の礎になっていると感じている人が多いようです。



残念ながら昨年は、インカレ他各大会でも入賞者を出すことができず、学生また私自身学びの多い一年となりました。しかし、今年はその反省を生かし練習の成果を確実に発揮できるようにチーム一丸となり巻き返しを図っているところです。

学生も卒業し社会人となれば、学生時代とは違う様々な困難が待ち受けているものと思いますが、自立した社会人となる為、今は「輪心館」多くのことを学んで欲しいと思っています。

#### OB会の近況など（昨年10月から現在まで）

- ・OB会定期総会  
(6月21日～国分町「すすきの」)

#### 現役部員について

- (1) 卒業生就職先
  - ・(株)ハラ電機 (岐阜県)
  - ・(株)アクティオ
  - ・(株)ランドトラスト (千葉市美浜区)
- (2) 新入部員について
  - ・猿田 匠 (埼玉県栄北 長距離)
  - ・今田 崇史 (山形県村山農業 長距離)
  - ・中込 健太 (秋田県能代西 短、中距離)
  - ・清涼 琢己 (鳥取県倉吉総合産業 長距離)

東北学院大学自転車競技部OB会  
監督 関戸 努

## 柔道部

### OB会の近況など（平成25年10月から現在まで）

（1）各事業（総会やゴルフ大会などのOB会の事業等）

- ・機関紙「南六会報」34号発行  
H25年10月1日
  - ・宮城県警南六会総会  
H26年2月1日（末広寿司）
  - ・南六会役員会  
H26年5月29日（90周年記念館会議室）
  - ・南六会総会  
H26年6月7日（ホテル白萩）
  - ・柔道部後援会総会  
H26年6月7日（ホテル白萩）
  - ・オールTG柔道交流会  
H26年6月7日（ホテル白萩）
  - ・南六会報編集委員会  
H26年7月23日（90周年記念館会議室）
  - ・南六会報編集委員会  
H26年9月1日（90周年記念館会議室）
  - ・東北学生優勝大会祝勝会  
H26年10月（未定）
- （2）活躍のOB（氏名・活躍の状況）
- ・菅原 洋（昭和42年経済卒）
  - ・東北学院同窓会一関支部長に就任  
（平成26年9月）

### 現役部員について

（1）今年度の結果（競技成績や部全体の目標）

東北学生柔道優勝大会（全日本学生柔道優勝大会東北予選会）で久々の優勝。

東北学生柔道体重別選手権大会で3階級で優勝、2位が2名、3位が3名。

東北学生柔道体重別団体優勝大会決勝で惜敗。

（2）新入部員の紹介（氏名・出身校・ポジションなど）

今年はこれまでにない13名が入部した。（スポーツ推薦5名、学院高2名、AO・指定校推薦で6名）即戦力期待の主な選手を挙げると

- ・荒 諒太（田村高）100kg以下級
- ・川崎滉喜（東海大四高）81kg以下級
- ・千葉健太（仙台育英学園高）60kg以下級
- ・猪又鴻紀（盛岡中央高）60kg以下級

（3）今年期待の選手（学年・氏名・期待の理由）

- ・吉田潤樹（4年）  
主将、90kg以下級、東北トップで全国上位を狙う
- ・大友雄太（4年）  
副主将、100kg以下級、稽古量が多く安定している
- ・白鳥弘樹（4年）  
副主将、100kg超級、東北個人戦2連覇達成
- ・宗像 優（2年）  
小さい体ながら1年からレギュラー定着
- ・森本誠也（2年）  
そろそろレギュラー定着、活躍に期待
- ・伊藤一輝（2年）  
スポ推薦外ながら国体成年の宮城県代表に
- ・猪又鴻紀（1年）  
スポ推薦外ながら体重別選手権で上位を狙う
- ・櫻井康詞（1年）  
工学部ながら文系の土樋道場で稽古  
その他、スポーツ推薦以外でも伸びしろに期待できる選手がいる。



2014全日本学生柔道優勝大会（日本武道館）



柔道部交流会兼祝勝会（来賓・部員・OB・後援会）



東北学生柔道体重別選手権大会入賞者（秋田県立武道館）

東北学院大学柔道部OB会  
高橋富士夫

## 準 硬式野球部

### 今春3月卒業生（新会員）の主な就職先

- ・宮城県予防医学協会
- ・(株)デンソーセールス
- ・仙台市教育局
- ・埼玉県警
- ・塩竈港運送
- ・宮城第一信用金庫
- ・宮城県警（2名）
- ・丸井産業(株)

### OB会の近況（昨年10月から現在まで）

#### （1）各事業

- 10月26日 部と共催で少年野球教室  
（雨天中止：多賀城市笠神グラウンド）
- 11月30日 OB会総会、卒業予定者のOB会入会式（○△□）
- 3月14日 春合宿援助、OB会員からの講話  
（多賀城市：小野屋ホテル）
- 7月10日 OB会新聞発行
- 7月27日 有志によるゴルフコンペ
- 8月9日 親睦会（藤崎ビアガーデン）
- 8月14日 親睦野球、現役とのOB戦  
（仙台市民球場：ナイター）

#### （2）活躍のOB

高谷弘樹氏（H23年卒：杜の都信用金庫勤務）が河北旗争奪職場対抗野球に出場。決勝戦で勝ち越しタイムリーを打つなど攻守に活躍し初優勝に貢献した。

※宮城第一信用金庫の8連覇を阻止した

#### （3）表彰関係

松崎宏明氏（H17年卒）が平成25年度宮城県野球団体協議会から軟式野球協議会の部で優秀選手として表彰を受けた。

中野裕太氏（H26年卒）が平成25年度宮城県野球団体協議会から東北地区大学準硬式野球連

盟の部で優秀選手として表彰を受けた。

#### （4）慶弔関係

平成25年10月6日 天江 皓一

（前OB会会長：昭和31年卒）

平成26年7月5日 木皿 喜良（昭和40年卒）

#### （5）その他、特記事項

今年度、4年に一度のOB会名簿を発行する予定

### 現役部員について

#### （1）今年度の目標（競技成績や部全体の目標）

- ・春季仙台リーグ戦準優勝（優勝：富士大学）
- ・清瀬杯全日本大学選手権大会出場決定戦準決勝で岩手大学に敗退（優勝：富士大学）
- ・現在、秋季仙台リーグ戦、関口杯トーナメント大会の優勝に向け練習中

#### （2）新入部員の紹介（氏名・出身校・ポジションなど）

- ・高橋 潔（利府 投手）
- ・遠藤 翼（利府 投手）
- ・木村 優作（東北 内野手）
- ・熱海 真悟（仙台商 外野手）
- ・橋本 廉（仙台三 捕手）
- ・澁谷 優成（利府 内野手）
- ・菅原 輔（仙台商 内野手）
- ・菅原 将人（仙台南 投手）
- ・佐藤 瑠（仙台南 内野手）
- ・大向 晃喜（久慈 外野手）
- ・高杉 恭平（花巻東 投手）
- ・渡邊 広大（須賀川 捕手）
- ・菅原 杏果（泉館山 マネージャー）
- ・熊谷 茉美（ ）

#### （3）今年期待の選手（学年・氏名・期待の理由）

- ・3年 本間 直樹（新チーム主将）

春の成績不振から立ち直るため、今まで以上のキャプテンシーを発揮しチームの再建を図ってほしい。

東北学院大学準硬式野球部OB会  
幹事長 荒井 晶

## スキューバダイビング

### 今春3月卒業生（新会員）の主な就職先

- ・ホシザキ電機(株)
- ・(株)JTB
- ・教育委員会
- ・(株)タカラレーベン

### 現役部員について

- (1) 今年度の目標（競技成績や部全体の目標）
  - ・事故のない部活動
  - ・部員全員のダイビングのスキルアップ
  - ・全国トップクラスのスキューバダイビング部として、関東の大会における上位入賞
  - ・ボランティアを始めとする地域貢献を目標の軸として活動する。
- (2) 新入部員の紹介（氏名・出身校・ポジションなど）
  - ・菅澤諒ほか13名
- (3) 今年期待の選手
  - ・3年 阿久津実希  
水泳部出身者でフリッパー大会の上位入賞が期待される。

- ・2年 坂井 章浩

水泳部出身者でフリッパー大会の上位入賞が期待される。

### その他、会報に掲載して欲しい事項

平成26年度は新入部員14名を加え総勢67名の部となった。年間スケジュールは4月新入部員勧誘、新入部員プール講習、6月海底清掃のボランティア7月山形県由良海岸での合宿、8月から数度の牡鹿半島塚浜海水浴場での海洋実習を積んで8月下旬沖縄県阿嘉島合宿、9月TGU杯フリッパー大会、10月には関東学生潜水協議会主催のフリッパー大会、12月クリスマスダイブ、年明け3月海外合宿のとなっている。

海洋実習や合宿には安全確保のため数名のコーチ、OB、OGの引率等が欠かせない部であり、OB会会員の深い理解と協力を切に願っている。

学生には二度とない4年間で良い仲間作りと、思い出深い学生生活となるよう精一杯、部活に勉学に励んで欲しい、と願っている。

東北学院大学スキューバダイビング部OB会  
 島山 敏



## 卓球部

### 今春3月卒業生（新会員）の主な就職先

- ・陸上自衛隊
- ・第一生命保険(株)

### OB会の近況など（昨年10月から現在まで）

#### （1）各事業

- ・OB会会報発行（6月）
- ・OB会総会  
（6月14日～仙台ガーデンパレス）
- ・第52回菊田杯争奪卓球大会  
（10月4・5日～泉キャンパス体育館）

#### （2）慶弔関係（月日・氏名・卒業年）

訃報

平成26年6月1日 鈴木洋一 S60.3月卒

### 現役部員について

#### （1）今年度の目標（競技成績や部全体の目標）

東北のリーグ戦優勝

#### （2）新入部員の紹介（氏名・出身校・ポジションなど）

- ・宮村 修平（岩手 専修大学北上）
- ・甘野 開流（秋田 秋田商業）
- ・北山 祥平（青森 青森商業）
- ・片岡 加奈（宮城 聖和学園）
- ・小松 幸（秋田 聖霊女子短大付属）

東北学院大学卓球部OB会  
村松 範明

## 軟式野球部

### 今春3月卒業生（新会員）の主な就職先

- ・宮城県警
- ・北都銀行(株)
- ・高速
- ・(株)セント

### OB会の近況など（昨年10月から現在まで）

- ・OB会総会（11月30日～シェルブール）

### 現役部員について

#### （1）今年度の目標（競技成績や部全体の目標）

- ・全国大学軟式野球選手権大会出場
- ・東日本大学軟式野球選手権大会出場

#### （2）新入部員の紹介（氏名・出身校・ポジションなど）

- ・高山 雄平（東北学院 ファースト）
- ・橋元 雄佑（東北学院 ショート）

#### （3）今年期待の選手（学年・氏名・期待の理由）

- ・2年 後藤 直睦  
全日本代表候補として期待

東北学院大学軟式野球部OB会  
監督 鈴木 勝博

## ハンドボール部

第11回TGジュニアカップTハンドボール大会開かれました。2月9日(土)～9日(日)、東北学院大学泉キャンパス体育館で宮城県下の中学生男子の部12チームが参加して行われました。第二シードの高砂中がインフルエンザで学校閉鎖になり棄権となりました。過去最多優勝5回している強豪校だけに非常に残念です。

仙台は78年ぶりの大雪に見舞われ中、一回戦から熱戦が繰り広げられました。ソチ五輪に負けない位の感動を観客の保護者の方がたに与えてくれました。技術的にはまだ未熟なプレーもありましたが、ハンドボールの基本でありますより早く走る大切さ・パスを正確につなぎシュートに持っていく必要性それが得点になり勝利に結びつくことを実感したと思います。

二回戦の好勝負は成田中と田尻中は24対24で延長戦になりました。ミスが少ない成田中が延長で走力が勝り35対26で田尻中を振り切り準決勝に駒を進めました。

2日目は大雪で23日に順延して会場を成田中に移して準決勝と決勝が行われました。

決勝はノーシードで勝ち上がってきた五橋中と新人戦を制した成田中の初顔合わせになりました。

成田中はミドルシュートで得点し、これに対して五橋中はサイドシュートとお互いに得意な攻めで戦いました。後半成田中に退場者で五点差に広がりましたが、追いつき残り8秒でタイムアウトをとりセット攻撃が実らずゲームセット27対26で五橋中の四年ぶりの二回目の優勝に輝きました。

### 第11回TGジュニアカップ試合結果

#### 【1回戦】

田子中	31	$\left\{ \begin{array}{l} 16-6 \\ 15-6 \end{array} \right\}$	12	柳生中B
東仙台中	36	$\left\{ \begin{array}{l} - \\ - \end{array} \right\}$	3	岩切中
中田中	23	$\left\{ \begin{array}{l} 17-3 \\ 6-10 \end{array} \right\}$	13	大和中

#### 【2回戦】

成田中	35	$\left\{ \begin{array}{l} 14-10 \\ 10-14 \\ 5-1 \\ 6-1 \end{array} \right\}$	26	田子中
柳生中A	23	$\left\{ \begin{array}{l} - \\ - \end{array} \right\}$	7	東仙台中
中田中	24	$\left\{ \begin{array}{l} - \\ - \end{array} \right\}$	19	田尻中
五橋中	21	$\left\{ \begin{array}{l} 15-8 \\ 6-9 \end{array} \right\}$	17	七北田中

#### 【準決勝】

成田中	24	$\left\{ \begin{array}{l} 12-12 \\ 12-10 \end{array} \right\}$	22	中田中
五橋中	22	$\left\{ \begin{array}{l} 9-10 \\ 8-7 \\ 3-0 \\ 2-2 \end{array} \right\}$	19	柳生中A

#### 【3位決定戦】

柳生中A	19	$\left\{ \begin{array}{l} 6-3 \\ 13-7 \end{array} \right\}$	10	中田中
------	----	---	----	-----

#### 【決勝】

五橋中	27	$\left\{ \begin{array}{l} 13-14 \\ 14-12 \end{array} \right\}$	26	成田中
-----	----	--	----	-----

#### 【ベストセブン】

G P	佐藤 凌 (五橋中)
C P	中 省吾 (五橋中)
C P	森 一真 (五橋中)
C P	松倉 大佑 (成田中)
C P	川越 翔太 (成田中)
C P	千田 凌也 (中田中)
C P	物江 紘平 (柳生中A)

### 今春3月卒業生(新会員)の主な就職先

- ・警視庁 ・JR東日本 ・日本生命
- ・(株)ユアテック ・(株)バイタルネット

### OB会の近況など(昨年10月から現在まで)

- ・OB会報「錬磨」第19号発行
- ・第11回 TGジュニアカップ  
(2月8日・22日～泉キャンパス体育館ほか)
- ・東北地区大学生ハンドボール研究集会への現役の派遣  
(3月23日・24日～秋田県青少年交流センター)

### 現役員員について

#### (1) 今年度の目標

東北大学リーグ1部昇格

#### (2) 新入部員の紹介

- ・三浦 徹 (盛岡中央：ポスト)
- ・澤藤 佳彦 (盛岡中央：サイド)
- ・吉野 智哉 (古川工業：サイド)
- ・熊谷 康太 (仙台商業：キーパー)
- ・宮崎 駿 (泉松陵：フローター)
- ・畠山 遼 (泉松陵：サイド)

#### (3) 今年度期待の選手

- ・4年 千葉 大輔  
チーム一練習熱心で最終学年で努力が開花しそう
- ・3年 小野寺隆斗  
ここ一番での得点力が魅力

東北学院大学ハンドボール部OB会  
総務・会計 阿部 修



## フェンシング部

### ○新入部員の紹介

①生年月日 ②出身高等学校 ③身長・体重 ④スタイル（右・左） ⑤得意種目 ⑥大学4年間で、学業と部活との両立から何を学び取り、卒業後どう社会で生かしていくか



**石川 力** (いしかわ りき)

経済学部 経済学科

- ①1995.11.25生 18才
- ②仙台（宮城県 仙台市）
- ③170cm 50kg
- ④右利き
- ⑤フルーレ
- ⑥全てに努力する事を学び、社会で生かしたい



**太田 海** (おおた かい)

経済学部 経済学科

- ①1996. 1.16生 18才
- ②仙台（宮城県 仙台市）
- ③170cm 54kg
- ④右利き
- ⑤フルーレ
- ⑥自分の力で考え、最後まで諦めない事を学び、社会で生かしたい



**結城 良太** (ゆうき りょうた)

経済学部 共生社会経済学科

- ①1995. 5.24生 19才
- ②仙台（宮城県 仙台市）
- ③173cm 58kg
- ④右利き
- ⑤エペ
- ⑥継続して取り組む事を学び、生かしたい



**岩渕 準平** (いわぶち じゅんぺい)

経済学部 共生社会経済学科

- ①1996. 1.17生 18才
- ②一関第二（岩手県 一関市）
- ③178cm 68kg
- ④右利き
- ⑤フルーレ・エペ
- ⑥時間厳守等の基本を学び、それを生かしたい

### ○「フェンシング部 創部60周年記念祝賀会」開催

平成26年8月16日(土)18時より、仙台ガーデンパレスにおいて、「創部60周年記念祝賀会」が開催された。

当日は、宮城県フェンシング協会から会長と理事長、青山学院大学フェンシング部からOB会長と監督、そして母校から石塚学生部長とアレイ・ウィルソン部長先生の各氏をご来賓としてお迎えし、総勢53名のご出席をいただいた。

つるぎ会（OB会）から、在校生へ、記念の「電気審判器購入資金」が贈られ、年代別の思い出話も尽きることなく、最後に全員で校歌斉唱とエールを交換し、予定時間を大きく超えて、再会を誓い散会となった。



佐藤OB会長の開会挨拶



在校生への記念品購入資金贈呈



卒業年代別会員の近況報告



在校生紹介



出席者全員で記念写真

東北学院大学フェンシング部OB会  
つるぎ会 事務局 工藤 健二

# ボート部

## 全日本マスターズ大会で 3連覇達成

ボート部OB：仙台艇友会一発会は、第7回全日本マスターズレガッタに出場し3連覇を成し遂げる事が出来ました。

種目：男子ナックルフォア500m「カテゴリG65～69歳」

開催：2014年5月24日～25日

場所：群馬県館林市 城沼ボートコース

### クルー

監督	杉船 敏彦	S45年卒
コックス	伊藤 俊一	〃
ストローク	鈴木 和雄	〃
3番手	鈴木 俊	〃
2番手	千田 宏	〃
パウ	成沢 礼義	〃

### 決勝

1位	一発会	宮 城	タイム 2'19"18
2位	道新ローイングぶんぶん	北海道	〃 2'25"75
3位	白門艇友会A	埼 玉	〃 2'26"93
4位	団塊号E	神奈川	〃 2'29"03



我がボート部OB一発会は、3連覇を目指し毎週日曜日に塩釜貞山堀にて艇を出し練習を重ねメンバー全員元気な事もあり、現役時代と変わらぬ距離を漕ぎ体力を付けて参りました。

そしてもう一つの力…奥様達の応援でした。今大会1200名近い選手出場の中大きな励みとなり大会終了後には、温泉泊し祝勝会と盛り上がり、来年に向けて（鳥取県）出場チャレンジの意気込みを話し合いました。



### 現役学生の活躍状況

平成25年度

全日本大学選手権大会

ダブルスカール

小笠原拓磨／神名川真也 予選敗退

全日本新人選手権大会

シングルスカール

神名川真也 予選敗退

### 現況

全日本大学選手権大会上位入賞を目指し合宿中です。

### 4月入学の有望選手

陰山祐希乃（田村）

平成24・25年全国高等学校選手権大会出場

東北学院大学ボート部OB会

## ボクシング部

### 伝統を引き継ぐにあたり

昨年11月よりボクシング部監督を務めさせていただいております平成7年卒業の江川純です。昨年9月7日、佐藤前監督の突然の訃報を受け、急きょ後を引き継ぐ事になりました。経験も実績も人柄も、偉大な佐藤前監督の後を引き継ぐ、事の重大さを痛感しておりますが、同時に昨年60周年を迎えた伝統ある東北学院大学体育会ボクシング部を率いる重責を心から光栄に思い、身の引き締まる思いです。自分なりに精一杯努力し、頑張る所存です。

私が故佐藤前監督、故柴田誠元部長の元に主将を務めた平成6年は、部員が20名を超え、台原に構えた合宿所で寝食を共にし、青山学院大学、北海学園大学との定期戦、東北地区大学大会は全勝、その年の国体の宮城県代表チームは全て当部の選手で臨み、本大会出場を果たしました。活躍をみせた時代を経験した、今では数少ないOBの一人として、その経験をチームに全力で注ぎたいと考えております。

今後目指すべきは佐藤前監督が部則に掲げた「礼儀・尊重」の意志（遺志）を継ぎ、部員全員が東北学院大学体育会の誇りを胸に、社会のルール、マナー遵守や礼儀正しい態度など高い品格を身につける事。技術的には更なる進化を目指し、選手のそれぞれの長を活かした厳しい練習を積んで、自信を

もって試合に臨み、全日本級選手とも対等に戦える選手育成を目指して、部長、副部长、OB会の皆様と一体となってチームを作り上げたいと思っております。

最後に若輩者故に、様々な場面でご心配をおかけすることもあるかと思いますが、学校関係者、スポーツOB連合会の皆様方の暖かい御指導、御鞭撻の程、宜しく願い申し上げます、御挨拶とさせていただきます。

### OB会の近況など（昨年10月から現在まで）

- (1) 各事業（総会やゴルフ大会などのOB会の事業等）
  - ・創部60周年記念
  - 平成25年11月2日～場所：仙台国際ホテル

### 現役部員について

- (1) 今年度の目標（競技成績や部全体の目標）
  - ・定期戦勝利
  - ・東北地区大学トーナメント 学校対抗優勝
- (2) 新入部員の紹介（氏名・出身校・ポジションなど）
  - ・小泉 溪（他 選手5名・マネージャー1名）
- (3) 今年期待の選手（学年・氏名・期待の理由）
  - ・小泉 溪
  - ・東北高校総体 準優勝
  - ・全国高校総体 ベスト16
  - ・国民体育大会 ベスト8

ボクシング部 監督 江川 純



## ヨット部

### OB会の活動、状況など

「躍動」第6号の創刊おめでとございます。

今年度のヨット部OB会の活動としましては、昨年と同様に、現役への支援を中心にした活動を行っております。

ちょうど1年前のこの時期に「躍動」第5号にてご報告いたしました「現役の活動する環境」は、その後、特に何も変わっておりません。

そのような状況でも、とにかく「出来る範囲」での支援を現役達に対して行い、少しでも良い練習と良い成績を残せるようにOB会が一丸となることが重要であると感じております。

その為には、我々OBだけでなく、学生課の皆様のご協力無しでは成し得ないことだと考えております。

今まで同様、ご指導ご鞭撻の程、よろしくお願いたします。

一つ、嬉しい出来事がありました。

去る7月初旬に開催されました「A級ディンギー全国大会」において、当ヨット部OBが多数出場し、見事「FRPクラス優勝・シニアクラス入賞」いたしました。

今年は、復興記念ということで宮城県の松島で開催され、全国から大勢の出場があった中、地元である東北学院OBが「優勝・入賞」を勝ち取ったことは、とても大きな意味を持つことだと思います。

明るい話題を作って頂いた先輩に感謝し、この流れを現役にも繋げていくことが出来るように願っております。

### 現役学生の活動状況、現況など

今年度は、新入部員が増えたことにより、約9年ぶりに「団体戦」である「東北インカレ」に出場することが出来ました。

「東北インカレ」は「全日本インカレ」の地区予選であり、今まで部員不足で出場すら出来ませんでした。そのような中でも、現役はめげずに少ない部員で懸命に勧誘活動を行い、部員を増やし、やっと念願の出場を果たしました。

大会は8月中旬に開催され、ライバルである東北大、新潟大と戦いました。

結果、惜しくも負けてしまいましたが、東北大は50名、新潟大は60名も部員がいる大御所相手に、たった7人の東北学院が激しい接戦を繰り広げていました。

「個人戦」とは違い「団体戦」というチームでレースをすることや、「団体戦」としての「負けた悔し

さ」を経験することが、現役にとって大きな財産になったと感じております。

この経験は、今後の部活動の励みになるはずです。8月で「団体戦」は終わりましたが、「個人戦」はまだ終わっていません。

今年6月に行われた「東北ヨット選手権」において、現役は「全日本470級選手権大会」への出場を決めており、本大会は11月に開催されます。

本大会までの残された時間を有効に使い、少しでも良い成績が残せるよう練習に励んでおります。

### OB会の近況など（昨年10月から現在まで）

- (1) 各事業（総会やゴルフ大会などのOB会の事業等）
  - ・OB総会（6月8日～場所 法華クラブ仙台）
- (2) 活躍のOB（氏名・活躍の状況）
  - ・第24回 全日本A級ディンギー選手権2014 東北復興松島大会  
（日時：7月5・6日 場所：宮城県松島）
  - ・FRPクラス  
優勝 池田皓（S43年卒）、阿部義男（S43年卒）  
金矢泰弘（S45年卒）
  - ・シニアクラス 3位 松澤泰通（S42年卒）  
杉浦光雄（S46年卒）

### 現役部員について

- (1) 今年度の目標（競技成績や部全体の目標）
  - ・東北ヨット選手権大会  
（日時：6月28・29日 場所：岩手県宮古）  
社会人含む 4位（学生のみ 3位）  
北村雄飛（3年）・北川翔也（4年）組
- \*全日本470級選手権大会への出場枠獲得。  
（本大会：11月19-24日 江の島）

東北学院大学ヨット部OB会  
木村 公英



## ラグビー部

### 今春3月卒業生（新会員）の主な就職先

- ・東日本旅客鉄道(株)
- ・住友林業(株)
- ・(株)北都銀行
- ・(株)メディカルシステムネットワーク
- ・塩竈港運送(株)
- ・神奈川県教員

### OB会の近況など（昨年10月から現在まで）

- (1) 各事業
  - ・総会（5月30日～ホテル白萩）
  - ・T G ラグークラブ会長杯ゴルフコンペ（8月31日～仙台カントリー倶楽部）
- (2) 活躍のOB
  - ・工藤哲男  
（日本ラグビーフットボール協会大学・高専委員）
  - ・菊地祐一  
（宮城県ラグビーフットボール協会理事長）
- (3) 慶弔関係
  - ・6月16日逝去 白出榮五郎  
T G ラグークラブ初代幹事長（昭23卒）

### 現役部員について

- ・藤田 紘成 気仙沼向洋 BK
- ・相原 透 仙台工業 FW
- ・吉川 哲哉 仙台 BK
- ・奥山 智生 仙台 FW
- ・嶋津 晨次 宮古 FW
- ・佐香 和輝 宮古 FW
- ・宍戸 直人 古川工業 FW
- ・遠藤 誠也 古川工業 BK
- ・布施 孝洋 佐沼 BK

東北学院大学ラグビー部OB会  
山田 純

## 陸上競技部

### 今春3月卒業生（新会員）の主な就職先

- ・(株)泉パークタウンサービス
- ・(株)リンクセオリージャパン
- ・スカイネットアジア航空(株)
- ・(株)七十七銀行
- ・三菱電機ビルテクノサービス(株)
- ・(株)ベネッセスタイルケア
- ・(株)藤商事
- ・(株)T A S A K I
- ・ジューテックホールディングス(株)
- ・青年海外協力隊
- ・ソフトバンククルー

### OB会の近況など（昨年10月から現在まで）

- ・新年会及び新入会員【26年卒業生】招待懇親会（2月～パレス平安）
- ・26年卒業生送別会時激励金贈呈及び最優秀選手表彰（2月～パレス平安）
- ・総会及び懇親会（6月～パレス平安）
- ・合宿差し入れ（8月・12月・2月）

### 新入部員紹介

氏名	学 科	出身校	種 目
松浦 洋介	経済	登米	混成
水戸 竜	経営	東北学院	短距離
酒井 政通	法律	谷地	短距離
菊入 賢人	法律	福島北	短距離
加茂舜太郎	機械知能工	仙台西	100m
北條誉志夫	経済	白河旭	400mH
山崎 大志	地域構想	宮古	100m
尾形 大志	経営	角館	マナージャー
佐藤 和也	経済	山形工業	長距離
佐々木信春	情報科	宮城県工業	競歩
多田 拓未	経営	鶴岡東	長距離
鈴木 晴貴	地域構想	東北学院榴ヶ岡	短距離
紺野 達夢	電子工	大船渡	投擲
岡崎 凌弥	法律	九里学園	短距離
荒木 俊輔	共生社会経済	米沢東	短距離
荒谷 竜也	経済	新井	跳躍 短距離
阿部 愛実	歴史	石巻好文館	1500m
上野 玲奈	地域構想	聖和学園	長距離
佐藤 美月	地域構想	利府	中長距離
吉住 葵	地域構想	常盤木学園	短距離
菅原実緒華	共生社会経済	仙台	短距離
齋野 桜	共生社会経済	上山明新館	マナージャー
米谷依里香	地域構想	利府	長距離



新年会及び新入会員【26年卒業生】招待懇親会 2月 パレス平安

東北学院大学陸上競技部OB会  
会長 鈴木 浩

## ワンダーフォーゲル部

昨年度に実施した泉ヶ岳山頂の方位盤の移設はOB会員や現役部員、さらに一般の登山者の協力を得て無事に完成することができました。

今年のOB会の活動は各季節ごとの定例会に加えて、蔵王にある山小屋（倉石ヒュッテ）の補修と活性化です。

以前は山小屋内の台所に付近の沢の水を引き込み水道として利用していましたが毎年の積雪により破損した状態にあります。今年度はこれを復活させていけるよう現役との協議に入ることを考えております。また、屋根のペンキの塗り替えや玄関屋根の雨漏り修理などを監督や現役部員と連絡をとりながら補修の計画をたて進めて行けるよう協力してまいります。

### 今年のOB会の活動実績と今後の予定

1月	新年会
3月	山小屋（倉石ヒュッテ）春季点検
4月	戸神山
6月	雄国沼～雄国岳
7月	八甲田山（一泊）
8月	山小屋（倉石ヒュッテ）夏季点検
10月中旬	安達太良山
11月上旬	倉石ヒュッテ祭
11月中旬	七ツ森
11月末	忘年会
12月	現役 納会

### 今春3月卒業生（新会員）の主な就職先

・(株)モンベル

### 現役部員、今年度の目標

執行方針

『心身ともに鍛錬する心、自己発展の心、人とのかわりを大切にできる心を大事にし、新しい活動を模索しつつ、可能性を広げる』

### 今年度の現役新入部員数

・8名



平成26年5月、倉石ヒュッテにおいて現役部員とOB会の交流会を実施しました

東北学院大学ワンダーフォーゲル部OB会  
会長 河村光保

## 応援団

### 今春3月卒業生（新会員）の主な就職先

卒業生3名。

・(株)仙台銀行 他

### OB会の近況など（昨年10月から現在まで）

5月	応援三者団結懇親会
5、6月	対青山学院大学・北海学園大学総合定期戦交流会
5月	ゴルフコンペ
6月	後援会総会
8月	強化夏合宿
10月	ホームカミングデーにて応援披露
11月	全日本大学応援団連盟本部校記念祭
12月	納会（演武会）・幹部交代式
1月	新年会
随時	各種応援活動への支援、指導、観覧など

### 現役部員について

幹部3名、2年目1名、1年目2名の計6名で活動中。

団三則の「礼儀」「責任」「闘志」に則り東北学院大学の発展に寄与するよう日々精進しております。

今までは少人数で構成していたため活動は硬式野球部への応援に偏ってしまっておりましたが若干ながら団員数も増加いたしましたので、各団体からの応援依頼をお待ちしております。

### 4月入学の有望選手

男子団員2名入団（鶴岡中央高校、霞城学園高校出身）  
体格良し。夏合宿にて団旗の掲揚に成功。

### その他

当団OBの千葉胤嗣（昭和41年卒）が長年にわたる宮古市への貢献を評価され旭日双光章を受賞いたしました。

東北学院大学応援団OB会

## 第5回TG・チーム対抗ゴルフ大会 結果

平成26年8月10日(日) ～杜の都ゴルフカントリー倶楽部 競技方法：新ペリア方式  
 スコアカット：トリプルボギー 最大ハンデ：36.0 参加：66名

### ○チーム対抗 成績

1位	硬式野球部A	佐藤 環・三田 順一
2位	ラグビー部B	工藤 昌彦・清水 正哉
3位	ゴルフ部D	大友 富雄・高橋 知嗣
4位	ボクシング部B	辻崎 嘉信・阿部 利行
5位	アメフト部B	谷米 徹也・福重 裕作
6位	ゴルフ部B	野窪 雄治・橋本 直行
7位	ゴルフ部A	小田桐和久・菊地 政義
8位	サッカー部A	佐藤 順・大友 義昭
9位	硬式野球部B	伊藤 昌俊・佐山 和男
10位	ゴルフ部F	渡邊 貴秀・高田 達

### ○個人成績

1位	佐藤 環	硬式野球部A
2位	辻崎 嘉信	ボクシング部B
3位	工藤 昌彦	ラグビー部B
4位	藤井 治夫	ワングル部
5位	竹丸 武志	ゴルフ部E
6位	伊藤 昌俊	硬式野球部B
7位	大友 富雄	ゴルフ部D
8位	菊地 政義	ゴルフ部A
9位	野窪 雄治	ゴルフ部B
10位	大友 義昭	サッカー部

○ベストグロス賞 大友 富雄



## T G ・ チーム対抗ゴルフ大会 過去の結果

### 第1回 (H22.8.8)

\* チーム対抗

優勝 準硬式野球部  
2位 ゴルフ部  
3位 仙台同窓会A

\* 個人

優勝 渋谷 隆・準硬式野球部  
2位 菅原 憲美・応援団  
3位 高橋 昌弘・ゴルフ部後援会

\* B S

田中 一也・ゴルフ部

### 第2回 (H23.8.7)

\* チーム対抗

優勝 T G クラブ A  
2位 ゴルフ部 B  
3位 サッカー部

\* 個人

優勝 中村 彰・ユアテック T G 会  
2位 大友 富雄・ゴルフ部  
3位 壹岐 和人・仙台同窓会 C

\* B S

大友 富雄・ゴルフ部

### 第3回 (H24.8.5)

\* チーム対抗

優勝 ゴルフ部 B  
2位 サッカー部 A  
3位 ゴルフ部 A

\* 個人

優勝 橋本 直行・ゴルフ部 B  
2位 伊藤 昌俊・硬式野球部 B  
3位 大友 富雄・ゴルフ部 A

\* B S

三浦 慶郎・サッカー部 A

### 第4回 (H25.8.11)

\* チーム対抗

優勝 ゴルフ部 C  
2位 ゴルフ部 M  
3位 ゴルフ部 H

\* 個人

優勝 佐藤 貴俊・ゴルフ部 G  
2位 大友 富雄・ゴルフ部 M  
3位 室橋 勝彦・ゴルフ部 F

\* B S

大友 富雄・ゴルフ部 M



## フランス滞在記

柔道部 高橋 富士男

フランス道場連盟 (Dojo de France) から指導者講習会の講師に招かれて、今年の4月21日から5月9日の帰国までの3週間ほどフランスに滞在する機会を得た。これまでアフリカ諸国や東南アジアを回ったことはあるが、今や柔道王国となったフランスでの指導は初めてでとても興味深いものであった。

幸先のいいことに、成田空港での手続きの際にエコノミー席が満席になったので、とビジネスクラスに移ってのフランス行きとなった。

パリに到着した翌日にパリ18区のDojo Chapellにおじゃまをした。幼稚園児から70歳くらいまでと幅広い年齢層の道場生がいてさすがだな、と思った。

数日のパリ滞在のあと、新幹線に乗り込みナント市 (Nantes) に向かった。迎えにきた指導者の車に乗り込みクエロン市 (Coueron) の道場に直行。新聞記者も来ていたが拙いフランス語なのでどのように伝わったのかは大きな疑問。そのあとムーラン市 (Moulin)、ディゴアン市 (Digoin)、リヨン市 (Lyon)、そしてブルジュ市 (Bourge) の各道場を回ったが、夜ともなれば各地で歓待を受けて毎晩の赤ワイン攻勢であった。また、道場にはミニバーが設置されてあって稽古の後に大人たちは生ビールを飲みながらの歓談である。日本では飲酒運転はダメだ、と言うと、フランスもダメだが3杯までは許される、などと冗談を言っではコインを出して飲んでいた。大変うらやましい光景であった。

各地の道場を回ってみて感じたことは当然のことであるが指導者の質の問題である。その先生の指導により受け身から打ち込みと基本をきちんとできる道場とそうでない道場とで差が歴然としている。日本でも同じことが言えようが、特に子供のうちから礼法も含めてきちんと指導することの大切さを改めて思わされた。

道場連盟の事務局長が言っていたが、フランス柔道界は柔道人口が多いというのが実態には問題があるのだ、と。登録者数は60万人を超えるが、その7割は9歳以下の子供であるという。これにはわが耳を疑ったが何回聞いても、そうだと返事である。そのいい例として、パリには120の道場があるそうであるがカデ大会 (ジュニアの下で15歳から17歳までの大会) にエントリーするのはたったの2,3チームを数えるだけだという。フランス人がなぜこのように子供が多いのか不思議であるが、日本と同じで中学になると他のスポーツに流れていくのだと思われる。因みに日本人の全柔連への登録者数は20万にも満たず、フランスの三分の一以下である。

5か所の道場の指導のあと、いよいよメインのVierzon市での指導者講習会であった。地方の町にしては試合場が4面もある立派な道場はさすがに柔道王国を自負するフランスである。指導者講習会は3日間で午前、午後の指導であったがさすがに国内各地から身銭を切って集まってくる指導者たちであるので真剣である。またipad等で記録しているので当方も当然緊張して臨むことになる。

指導内容は技術指導と形の指導ということであった。技術指導においては打ち込みから手技、腰技、足技の主だった技を反復してもらったが、いつもは指導している方々には気の毒であったが、基本の大切さを理解してもらいたい、との思いからであった。この辺はこの講習会で通訳を務めていただいたパリ在住の日本人柔道家からの流暢な通訳により理解をしていただいた。

形については出発前から形は講道館護身術で、との連絡が入っていたので安心をしていた。というのはアフリカでの巡回指導の際は講道館護身術のみを演じてきたからであり、これが極の形とか古式の形の要望だったら相当に苦勞をしたろうし冷や汗をかいたであろう。

日本人は乱取り稽古中心で勝ち負けに重きをおくが、ベルギーでもそうであったが、ヨーロッパでは形をよく勉強していて口うるさい御仁が結構多いので要注意である。これから海外に行こうとする指導者は、彼ら以上に練習を積んで理合い、間合い等についても理解していないと恥をかくことになる。

三日間の日程はあっと云う間に過ぎた感じであった。柔道をこよなく愛好するフランス国内の指導者たちと時間を共有できた幸せな三日間であった。

Vierzonでの指導者講習会を終えてから軍港でもあるBrest移動した。Dojo Brestoisに日参したが、これまで回った道場とは違い、人数が多くて曜日、時間を分けて稽古をしていた。子供の多さはもちろんのこと、女性たちも真剣に稽古をしていた。道場生は何人くらいですか、と聞いたら350名だと言う。

このブレストにはもう一つ、日本人女性が旦那さんと経営する修道館という道場があり、ここも300名くらいの人数であったかと記憶しているが、人口が15万人くらいの街にこのようにふたつの大きな道場があり、そしていづれも経営者はこの道場一本でメシを食っているのである。

以前にこの日本人の先生とお会いした際に「好きな柔道でごはんを食べていけて幸せ」と言っていたが、フランスにはこのように道場経営で生計を立てている指導者が少なくないという。今回の講習会で通訳をしてくれた彼は単身フランスに渡り、各地の道場と契約して指導するプロで生計を立て頑張っていた。ちなみに日本人では道場経営で生計を立てている方は一人もいない。

3週間の滞在であったが、チケットを懐に入れて単身、フランス国内を西に行ったり、東に行ってはまた北上して南下、とフランス国内を横断、縦断するような行程であった。列車での移動が多かったが、乗換が2回もあったりで果たして無事に目的地に着けるのかどうかの心配もあったが何とかそれぞれにたどり着くことができた。

国際交流基金派遣で5回ほどアフリカ巡回指導に行かせてもらったが空港には大使館職員の方が迎えに来てくれて、荷物も現地職員がという状況で楽して威張っていたが、今回は荷物を担いでの一人旅であり、いろんな意味でいい体験をさせてもらった。柔道に感謝である。



フランス指導

## 平成26年度 T G スポーツ O B 連合会総会 議事録

1. 日時：平成26年2月20日(木) 18:00~18:30

2. 場所：仙台サンプラザ

3. 出席：34団体/90名

合気道部、アメリカンフットボール部、空手道部、弓道部、剣道部、硬式野球部、ゴルフ部、サッカー部、山岳部、少林寺拳法部、自転車競技部、柔道部、準硬式野球部、水泳部、スキー部、スキューバダイビング部、相撲部、ソフトテニス部、卓球部、軟式野球部、ハンドボール部、バドミントン部、バレーボール部、フェンシング部、ボート部、ボクシング部、ヨット部、ライフル射撃部、ラグビー部、陸上競技部、レスリング部、ワンダーフォーゲル部、応援団、体育会常任幹事会。

欠席：3団体

サイクリング部、自動車部、バスケットボール部。

※脱退（加入届未提出）：航空部、硬式庭球部、スケート部、体操競技部、馬術部、ボウリング部、ボディビル部、洋弓部、ラクロス部。

4. 議事の経過及び結果

会則11条に基づき仲嶋会長が議長となり議事に入った。

議事録署名人にゴルフ部OBの萩生恵治郎氏を選出した。

**【報告事項】**

以下の(1)～(7)について報告がなされた。

(1) 加盟届の届出状況について

※平成25年度総会（H25.2/6）承認事項

届出 37団体

退会 1団体

未提出 8団体

(2) 第4回TGチーム対抗ゴルフ大会の開催結果について

平成25年8月11日(日)～杜の都ゴルフ倶楽部（78名参加）

(3) 会報「躍動」第5号の発行について

平成25年11月18日発行（300部）

(4) 創部記念事業の開催について

1) 平成25年 2月9日(土) ライフル射撃部創部50周年記念祝賀会

2) 〃 10月5日(土) 山岳部創部75周年記念祝賀会

3) 〃 11月2日(土) ボクシング部創部60周年記念祝賀会

4) 〃 11月9日(土) ソフトテニス部創部100周年記念祝賀会

（祝賀会場については事業報告書に記載）

(5) 新OB会長について

卓球部 樋口 光成 氏 ⇒ 今野 智雄 氏 (昭和56年経経卒)

(6) 新理事について

ボクシング部 佐藤今朝善 氏 ⇒ 平山 典明 氏 (平成2年経経卒)

ラグビー部 高橋 俊哉 氏 ⇒ 山田 純 氏 (平成6年経商卒)

(7) 新監督について

卓球部 増田 孝夫 氏 ⇒ 村松 範明 氏 (昭和59年経経卒)

【審議事項】

(1) 平成25年度事業報告について

資料をもとに事務局から説明、報告がなされた。

(2) 平成25年度収支決算報告について

資料をもとに事務局から説明、報告がなされた。

収入1,466,544円 支出859,713円 繰越金606,831円

監査報告

松本宏一監事(スキー部OB)から、八島康治監事(準硬式野球部OB)と1月22日に会計監査を行なった結果、執行期間内の予算執行を確実に実行し未払い金を発生させないよう指導したとの報告があり、収支決算書の記録については正確に記録していることを認めたとの監査報告がなされた。

< (1) ~ (2) 承認 >

(3) 平成26年度事業計画案について

資料をもとに事務局から説明がなされた。

(4) 平成26年度収支予算案について

資料をもとに事務局から説明がなされた。

収入1,551,086円 支出1,255,000円 予備費296,086円

< (3) ~ (4) 承認 >

(5) 平成25年度勲功章案について

資料をもとに説明がなされた。

459号から464号まで11名の表彰を承認。

< (5) 承認 >

(6) 常任理事の補充案について

熊谷聖氏(弓道部)からの辞任願と佐藤今朝善氏の逝去に伴う補充人事案を承認。

1) 平山 典明 氏 (平成2年経経卒) ボクシング部OB会事務局長

2) 山田 純 氏 (平成6年経商卒) ラグビー部副部長

(7) 事務局長の後任案について

山田純事務局長の常任理事就任に係る、その後任人事案を承認。

曾根 邦敏 氏 (昭和62年文英卒) アメリカンフットボール部副部長

議長の仲嶋会長は、その他の議案がないことを確認し、本総会の議事を終了し閉会を宣言した。

## 平成25年度(2013)事業報告

<平成25年1月1日～12月31日>

年	月	日	曜日	事業名	場所等
25	1	17	木	常任理事会（第1回）	TGサテライトステーション
	1	23	水	理事会（第1回）	大学8号館会議室
	2	6	水	平成25年度TGスポーツOB連合会総会&交流会	仙台国際ホテル
	2	9	土	平成24年度勲功章授与式（第451号～第458号）	仙台国際ホテル
				ライフル射撃部創部50周年記念式典	
	4	19	金	常任理事会（第2回）	伊達の牛タン
	5	15	水	東北学院創立記念式典（127周年）	土樋礼拝堂
	6	3	月	企画広報委員会（第1回）	TGサテライトステーション
	8	1	木	企画広報委員会（第2回）	TGサテライトステーション
	8	11	日	第4回TG・チーム対抗ゴルフ大会	杜の都ゴルフ倶楽部
	10	5	土	山岳部創部75周年記念祝賀会	さんさ亭
	10	10	木	企画広報委員会（3回）	TGサテライトステーション
	10	31	木	企画広報委員会（第4回）	TGサテライトステーション
	11	2	土	ボクシング部創部60周年記念祝賀会	仙台国際ホテル
	11	9	土	ソフトテニス部創部100周年記念祝賀会	パレス平安
	11	18	月	会報「躍動」第5号発行	
12	11	水	常任理事会（第3回）	TGサテライトステーション	

## 平成26年度(2014)事業計画

<平成26年1月1日～12月31日>

年	月	日	曜日	事業名	場所等
26	1	17	金	常任理事会（第1回）	TGサテライトステーション
	1	24	金	理事会（第1回）	大学8号館第4会議室
	2	3	月	理事会（第2回）	カプリチオーザ
	2	20	木	平成26年度TGスポーツOB連合会総会&交流会	仙台サンプラザ
	5	15	木	平成25年度勲功章授与式（第459号～第464号）	
				東北学院創立記念式典（128周年）	
	8	1	金	会報「躍動」第6号発行	
	8	10	日	第5回TG・チーム対抗ゴルフ大会	杜の都ゴルフ倶楽部
	9	20	土	ゴルフ部創部50周年記念祝賀会	江陽グラウンドホテル

(※常任理事会、理事会、専門委員会は必要により随時開催する。)

# 平成25年度(2013)収支決算書

＜平成25年1月1日から平成25年12月31日＞

＜収入＞

(円)

摘 要	25年度 予算	25年度 決算	増 減	備 考
繰越金	463,130	463,130	0	
総会費	720,000	660,000	60,000	会員110名 (@6,000円)
年会費	230,000	185,000	45,000	37団体 (@5,000円)
会報広告協賛費	200,000	175,000	25,000	会報「躍動」第5号の協賛金 内130,000円は未収入金
預金利息	100	99	1	
雑収入	100,000	113,315	△ 13,315	ご祝儀およびゴルフコンペ収益
当期末未収入金	0	△ 130,000	130,000	会費広告費協賛金130,000円未収入
合 計	1,713,230	1,466,544	246,686	

＜支出＞

摘 要	25年度 予算	25年度 決算	増 減	備 考
総会費	700,000	743,478	△ 43,478	仙台国際ホテル
表彰費	100,000	103,635	△ 3,635	勲功章楯、額縁等 内95,445円は未払い金
印刷費	280,000	260,400	19,600	会報「躍動」第5号 260,400円は未払い金
事業費	100,000	0	100,000	
通信費	30,000	18,970	11,030	各事業案内、報告文書郵送およびハガキ代等
会議費	20,000	12,250	7,750	常任理事会、理事会
事務費	20,000	0	20,000	
委託費	100,000	100,000	0	ホームページ更新料 (H24-25) 100,000円は未払い金
慶弔費	30,000	76,720	△ 46,720	祝儀、香典
雑費	10,000	105	9,895	振り込み手数料
当期末未払金	0	△ 455,845	455,845	表彰費、印刷費、委託費の未払い金合計
小 計	1,390,000	859,713	530,287	
繰越金		606,831	△ 606,831	
予備費	323,230	0	323,230	
合 計	1,713,230	1,466,544	246,686	

## 平成26年度(2014)収支予算書

＜平成26年1月1日から平成26年12月31日＞

＜収入＞

(円)

摘 要	25年度 決算	26年度 予算	増 減	備 考
繰 越 金	463,130	280,986	△ 182,144	
総 会 費	660,000	600,000	△ 60,000	(@5,000円 120名)
年 会 費	185,000	370,000	185,000	37団体 (@10,000円)
会報広告協賛費	175,000	200,000	25,000	
預 金 利 息	99	100	1	
雑 収 入	113,315	100,000	△ 13,315	ご祝儀等
合 計	1,596,544	1,551,086	△ 45,458	

＜支出＞

摘 要	25年度 決算	26年度 予算	増 減	備 考
総 会 費	743,478	600,000	△ 143,478	仙台サンプラザ
表 彰 費	103,635	100,000	△ 3,635	勲功章楯、額縁等
印 刷 費	260,400	280,000	19,600	会報「躍動」第6号
事 業 費	0	100,000	100,000	総務・企画広報委員会にて企画立案
通 信 費	18,970	20,000	1,030	各事業案内、報告文書郵送およびハガキ代等
会 議 費	12,250	30,000	17,750	常任理事会、理事会
事 務 費	0	20,000	20,000	
委 託 費	100,000	50,000	△ 50,000	ホームページ更新料
慶 弔 費	76,720	50,000	△ 26,720	O B会祝賀会祝儀、香典、電報代等
雑 費	105	5,000	4,895	振り込み手数料、その他
小 計	1,315,558	1,255,000	△ 60,558	
繰 越 金	280,986	0	△ 280,986	
予 備 費	0	296,086	296,086	
合 計	1,596,544	1,551,086	△ 45,458	

※決算書の当期資産残高は280,985円なっておりましたが、計算違いで正しくは280,986円でした。

※予算案の収入の年会費は理事会で言われたとおり加入団体の申込みが35団体ですので350,000円としました。

※同じく支出の事業費については、委員会で検討することとし、100,000円を計上しました。また事務費についても指摘がありましたので20,000円を計上しました。さらに、雑費についても5,000円を計上しました。

## 平成25年度(2013) T G スポーツ O B 連 合 会 勲 功 章 表 彰

No.	表彰No.	表彰者(団体)	所属	学部・学年・卒年	表彰理由
1	459	大田口 凌	自転車競技部	経済学部3年	日本代表選手として「2013ツールド・シンカラ大会(インドネシア共和国パダン)」出場 H25.6.2-3 日本自転車競技連盟U23ロード強化指定選手
2	460	淵田 瑞歩	軟式野球部	経営学部4年	日本代表選手として「第8回日台大学軟式野球国際親善大会」出場 H25.12.3-10
3	461	高橋 朋史	剣道部	経済学部1年	「第8回全日本学生剣道オープン大会(男子2段の部)」第3位 H25.12.21-22
4	462	仙台艇友会	ボート部OB会		仙台艇友会(OB会名称)一発会として大会出場 「第6回全日本マスターズボート選手権大会(愛知県愛知池ボートコース)」H25.5.18-19 ナックルフォア(60歳~65歳)優勝 「第22回河北レガッタボート選手権大会(宮城県長沼ボートコース)」H25.6.8-9 ナックルフォア(40歳以上)優勝
		鈴木 和雄		昭和45年経経卒	
		鈴木 俊		昭和45年経経卒	
		千田 宏		昭和45年経経卒	
		成沢 礼義		昭和45年経商卒	
		伊東 俊一		昭和45年経経卒	
		杉船 敏彦		昭和45年経経卒	
5	463	高橋富士男	柔道部OB	昭和45年法法卒	「第5回I J F世界ベテランズ国際柔道大会(アブダビ)100kg以下級(M8)」優勝 H25.11.24-26 「第2回アジアグランドマスターズ柔道大会(講道館)100kg以下級(M8)」優勝 H25.9.21-22
6	464	石森 辰浩	柔道部OB	平成15年経経卒	「第2回アジアグランドマスターズ柔道大会(講道館)81kg以下級(M1)」準優勝 H25.9.21-22

## T G スポーツ O B 連合会 会則

(名称・組織)

第1条 本会は、T G スポーツ O B 連合会と称し、東北学院大学体育会各部 O B、並びに応援団 O B、及び理事会で推薦した者を以って組織する。

(目的)

第2条 本会は東北学院スポーツの振興と発展のため、物心両面の援助を図るとともに、会員相互の融和と団結を図り母校の隆盛に寄与することを以って目的とする。

(事務局)

第3条 本会の事務局を東北学院大学内に置く。

(事業)

第4条 本会は第2条の目的を達成するため、次の事業を行なう。

1. 優秀団体、優秀選手の表彰
2. 指導者講習会
3. 体育会所属学生への指導、援助
4. 会員名簿の管理
5. 交流会
6. その他、会の運営に必要な事業

(会員)

第5条 本会の会員を下記二種に区分する。

1. 正会員
2. 特別会員

(役員)

第6条 本会に次の役員を置く。

1. 会 長 1名
2. 副 会 長 3名
3. 理 事 長 1名
4. 常任理事 15名
5. 理 事 各部より2名、並びに会長委嘱の者若干名
6. 事務局長 1名
7. 監 事 2名
8. 顧 問 若干名
9. 名誉会長、相談役、参与を置くことができる。

(選任)

第7条 役員を選任は次による。

1. 会長並びに理事長は理事会において推薦され総会で承認を得る。
2. 副会長は会長が指名する。
3. 理事は各部 O B 会から選出された者と会長委嘱の者とし、理事会を構成する。理事会は理事長、常任理事をそれぞれ推薦、選出し、総会の承認を得る。
4. 事務局長は理事会において選出する。
5. 監事は総会において会員の中から選出する。
6. 顧問は各 O B 会等から推薦された者、及び本会の発展に特に功労があった者を会長が委嘱する。
7. 名誉会長、相談役、及び参与は会長が委嘱し、総会で承認を得る。

(役員の仕事)

第8条 1. 会長は本会を代表し、会務を総理する。

2. 副会長は会長を補佐し、会長に事故ある時はこれを代行する。
3. 理事長は事業の実務の執行を指示し管理する。
4. 常任理事、及び理事は具体的な実務の執行を行なう。
5. 事務局長は本会の円滑な運営のため事務全般を担当する。
6. 監事は定時総会において監査の結果を報告する。
7. 顧問は重要事項につき会長の諮問に応じる。

(任期)

第9条 役員任期は2ケ年とする。但し再任を妨げない。

(会議)

第10条 本会に次の会を置く。

1. 総会
2. 常任理事会
3. 理事会
4. 専門委員会

第11条 総会は年一回開催し、会長がこれを招集し議長となる。臨時総会は必要ある時に、会長がこれを招集する。

第12条 総会は本会の最高の意思決定事項とし、次の事項を決議する。

1. 事業報告及び収支決算
2. 事業計画及び収支予算
3. その他重要な事項

第13条 常任理事会、理事会及び専門委員会は理事長が必要に応じて召集する。

第14条 総会、常任理事会、理事会の議事は、出席者の過半数を以って決定し、可否同数の場合は会長の決するところによる。

(会計)

第15条 本会の会費は、体育会各部OB会、並びに応援団OB会より年会費を徴収する。その他、助成金、寄付金を以って会の運営費に充てる。

第16条 本会の会計については、事務局で管理する。

第17条 本会の事業、会計年度は1月1日に始まり同年12月31日に終わるものとする。

付 則

1. 会則

本会則は昭和48年（1973）11月22日から施行する（会名称は春秋会）

平成2年（1990）2月6日、会則の一部改正（総会）

平成6年（1994）10月28日、会則一部改正（臨時総会）

会名称変更。春秋会からTGスポーツOB連合会に

平成14年（2002）2月12日、会則の一部改正（総会）

副会長枠数、役員選任方法の一部改正

平成18年（2006）2月16日、会則の一部改正（総会）

幹事名称を理事名称に変更。専門委員会の設置、会計年度の変更

平成19年（2007）2月15日、会則の一部改正（総会）

終身会費の廃止

平成20年（2008）2月14日、会則の一部改正（総会）

第2条、スポーツ推薦等と、の文言を削除

2. 年会費は別に定める。
3. 表彰規定は別に定める。
4. 専門委員会規定は別に定める。
5. 慶弔規程は別に定める。

## T G スポーツ O B 連 合 会 役 員

＜平成26年1月1日～12月31日＞

顧 問	松本 宣郎	東北学院理事長・東北学院大学長
	星宮 望	東北学院長
相 談 役	佐々木俊三	副学長
	石塚 秀樹	学生部長
	原田 善教	体育会長
参 与	加盟団体各 O B 会長	

役 職	氏 名	卒年・学科	所 属 部	備 考
名誉会長	本間 良一	S 33文経	サッカー部	宮城県サッカー協会
会 長	仲嶋 一雄	S 41文経	ハンドボール部	ハンドボール部 O B 会長
副 会 長 (3名)	佐藤 順	S 45経商	サッカー部	サッカー部 O B 会長 (O B 会会長枠)
	高橋富士男	S 45法法	柔道部	柔道部師範 (会長指名枠)
	栗野 眞	S 52経経	ライフル射撃部	ライフル射撃部監督 (監督会枠)
理 事 長	大友 富雄	S 55経経	ゴルフ部	ゴルフ部監督
常任理事 (15名)	藤井 治夫	S 45経商	ワンダーフォーゲル部	ワンダーフォーゲル部 O B 会幹事
	鈴木 和雄	S 45経経	ボート部	ボート部 O B 会長
	菊地 正	S 46経経	バドミントン部	バドミントン部監督
	武田三子雄	S 47経経	剣道部	剣道部副部長
	中野 信朗	S 50経経	スキー部	スキー部副部長
	伏見 善成	S 50経商	準硬式野球部	準硬式野球部監督
	千葉 幹雄	S 53経経	自転車競技部	自転車競技部 O B 会副会長
	伊藤 昌俊	S 53経経	硬式野球部	硬式野球部 O B 会幹事長
	高橋 公晴	S 56経経	アメリカンフットボール部	アメリカンフットボール部 O B 会長
	山田幸太郎	S 57経経	ヨット部	ヨット部コーチ
	下山 正人	S 57経経	スキューバダイビング部	スキューバダイビング部 O B 会事務局長
	萩生恵治郎	S 57経商	ゴルフ部	ゴルフ部 O B 会事務局長
	増田 孝夫	S 63文史	卓球部	卓球部前監督
	平山 典明	H 2 経経	ボクシング部	ボクシング部事務局長
	山田 純	H 6 経商	ラグビー部	ラグビー部副部長(事務局兼務)
理 事	各団体から 2 名			
監 事	八島 康治	S 52経経	準硬式野球部	
	松本 宏一	S 56経経	スキー部	
事務局長	曾根 邦敏	S 62文英	アメリカンフットボール部	アメリカンフットボール部副部長
事 務 局	石田 伸彦	H 6 教人	水泳部	水泳部副部長
	阿部 文智	H 9 経経	柔道部	柔道部監督

＜事務局＞ 980-8511青葉区土樋 1-3-1 東北学院大学学生課内 Tel022-264-6474 (曾根・阿部)

## 平成26年度 T GスポーツOB連合会 各団体役員名

	団体名	OB会長	理事(各団体2名)		連絡者	常任理事	
1	合気道部	根本 仁志	高橋 正博	岡 正記	高橋 正博		
2	アメリカンフットボール部	高橋 公晴	高橋 公晴	曾根 邦敏	佐藤浩一郎	企	高橋 公晴
3	空手道部	小野 研治	須藤 直照	高橋 光夫	高橋 光夫		
4	弓道部	熊谷 聖	熊谷 聖	平間 真	熊谷 聖		
5	剣道部	斎藤東志男	武田三子雄	熊谷 求己	武田三子雄	財	武田三子雄
6	硬式野球部	荒浪 秀男	佐山 和男	伊藤 昌俊	伊藤 昌俊	総	伊藤 昌俊
7	ゴルフ部	小田桐和久	大友 富雄	萩生恵治郎	萩生恵治郎	企	萩生恵治郎
8	サッカー部	佐藤 順	佐藤 順	武田 均	佐藤 順		
9	サイクリング部	戸田 祐二	佐藤 明	相澤 秀樹	相澤 秀樹		
10	山岳部	松倉 和義	高橋 伸彦	佐藤 浩輔	松倉 和義		
11	少林寺拳法部	本間 盛男	二階堂 哲	大槻 善則	門脇 邦知		
12	自転車競技部	小野目博昭	小野目博昭	千葉 幹雄	伊里山 豊	財	千葉 幹夫
13	自動車部	山田 敏郎	佐藤 正	石井 幸雄	石井 幸雄		
14	柔道部	遠藤 浩	佐藤 勇三	阿部 文智	佐藤 勇三		
15	準硬式野球部	山本 剛	伏見 善成	八島 康治	八島 康治	総	伏見 善成
16	水泳部	桐ヶ窪多門	石田 伸彦	井手上 喬	石田 伸彦		
17	スキー部	木村 雅之	中野 信朗	松本 宏一	松本 宏一	総	中野 信朗
18	スキューバダイビング部	武田 幸雄	千葉 伸	下山 正人	下山 正人	企	下山 正人
19	相撲部	菊地 正博	大泉 貞二	峯岸 新平	早坂 佳之		
20	ソフトテニス部	須藤 博	伊藤 恵一	渋谷 光保	伊藤 恵一		
21	卓球部	樋口 光成	増田 孝夫	村松 範明	増田 孝夫	総	増田 孝夫
22	軟式野球部	菅野 昭彦	福田 克俊	鈴木 勝博	福田 克俊		
23	ハンドボール部	仲嶋 一雄	阿部 修	小西 和男	仲嶋 一雄		
24	バスケットボール部	菊池 哲	石山 仁	帆足 直治	石山 仁		
25	バドミントン部	浜畑 莞爾	川内 賢一	菊地 正	菊地 正	総	菊地 正
26	バレーボール部	菅野 健	高橋 純夫	山内 茂夫	山内 茂夫		
27	フェンシング部	佐藤 彰一	工藤 健二	頼藤 俊夫	工藤 健二		
28	ボート部	鈴木 和雄	増田 量吉	角張 正	角張 正	財	鈴木 和雄
29	ボクシング部	小野 潔	児玉 健	平山 典明	平山 典明	企	平山 典明
30	ヨット部	松澤 泰通	大久保寿人	山田幸太郎	木村 公英	企	山田幸太郎
31	ライフル射撃部	三文字一郎	栗野 眞	佐久間栄造	栗野 眞		
32	ラグビー部	菊地 祐一	熱海 義一	末永 隆逸	山田 純	財	山田 純
33	陸上競技部	鈴木 浩	鈴木 浩	金ヶ崎伸也	鈴木 浩		
34	レスリング部	菅野 紀夫	佐々木幸蔵	早坂 友行	早坂 友行		
35	ワンダーフォーゲル部	河村 光保	藤井 治夫	松尾 尚志	河村 光保	財	藤井 治夫
36	応援団	山城 正温	高橋 嘉男	本間 裕治	高橋 嘉男		
37	体育会常任幹事会	坪子 正博	須田 充彦	中道 浩司	中道 浩司		

## TGスポーツOB連合会 オリジナルキャップのご紹介

このたび、TGスポーツOB連合会ではオリジナルキャップを作成しました。色はホワイトとブルーの2色となります。お問い合わせは学生課 曾根まで (022-264-6474)



**1,500 円で販売中!**

## 各部のキャラクターを作りますか

いま数部でオリジナルのキャラクターを作成しTシャツ等にプリントして活用しております。

宮城の県獣であります「鹿」をキャラクターとしておりますが、ご希望の部(団体)がありましたらお申し出ください。

デザインは熊谷清デザイン事務所をお願いしていますが、肝心のデザイン料は3万円以内とし、交渉にも応じるとのことでありました。現役部員、OBにとっての「わが部のキャラクター」としていかがでしょうか。



柔道部



スキー部



TGスポーツOB連合会  
<http://www.tgaa.jp/>